

海外特別研究員の就職状況等について（調査票）① <様式3-3>

氏名	受付番号		
萩原 佑紀	(採用年度) 令和 6 年度		(受付番号) 202406317
フリガナ	生年月日		
ハギワラ ユキ	平成8年5月14日		
連絡先			
〒 :	5620031		
住所 :	大阪府箕面市小野原東2-10-16 石塚ハイム406		
電話 :	08058620514	メールアドレス :	yagiwara@biken.osaka-u.ac.jp

海外特別研究員申請時から現在までの職歴（略歴）を、以下にご記入願います。

《入力・記入上の注意》

- ※ 本務職のみを記入してください（兼務職の記入は不要です。）。
 - ※ 同時期に非常勤職等複数の職に就いている場合には、主たる勤務先一箇所の職務を記入してください。
 - ※ 申請時及び申請から派遣期間終了までの職歴については、資格欄についてもご回答ください。
 - ※ 「常勤・非常勤等の別」の欄には、「任期無、任期付、非常勤」の中から該当するものをお選びください。
 - ※ 所属機関名の前に国名を記入してください。

・記載例は下記のとおりです。

1. 令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月 米国・Guest Researcher, XXX Research Institute (非常勤)
2. 令和 6 年 4 月～令和 9 年 3 月 日本・○○大学工学部 助教 (任期付)
3. 令和 9 年 4 月～ 日本・○○大学大学院工学研究科 准教授 (至現在) (任期無)

次ページに続きます

海外特別研究員の就職状況等について（調査票）② <様式3-3>

海外特別研究員派遣終了後の職と、申請時、派遣開始時及び派遣期間中の身分・職等との関係について以下の間にご回答ください。

A： 海外特別研究員申請時点での身分・資格につき、該当するものを選択して下さい。

- ① 申請時は「資格(I)：国内所属有(任期無)」で、派遣中もその職に留任(資格(I)のまま)。
 ② 申請時は「資格(I)：国内所属有(任期付)」で、派遣中もその職に留任(資格(I)のまま)。
 ③ 申請時は「資格(I)：国内所属有(任期無)」だったが、派遣前又は派遣中に辞職。
 ④ 申請時は「資格(I)：国内所属有(任期付)」だったが、派遣前又は派遣中に辞職。
 ⑤ 申請時は「資格(I)：国内所属有(任期付)」だったが、派遣前又は派遣中に任期満了。
 ⑥ 資格(II)：我が国の大学等学術研究機関に所属する研究者を志望する者
- 以下の
B を回答願います
以下の
C を回答願います

B： Aで①・②の「申請時の職に留任(資格(I)のまま)」と回答された方にお尋ねします。

B-1：日本での所属機関では、どのような手続きにより派遣を開始されたかにつき以下にご回答ください。
※派遣期間中の給与の有無及び機関のサバティカル制度利用の有無を併せてご回答願います。

- ① 休職
 ② 出張
 ③ 留学・研修
 ④ その他 ()
 ※ 有給 (有給の場合、当該欄を選択)
 ※ サバティカル制度を利用 (サバティカル制度利用の場合、当該欄を選択)

B-2：申請時点での職と、派遣終了後の職の関係につき、以下にご回答ください。

- ① 申請時の職のまま勤務を継続
 ② 申請時の職を辞職し、別の職に就職
 ③ その他 ()

C： Aで③～⑤の「辞職」又は「任期満了」と回答された方にお尋ねします。

C-1：辞職(資格変更(I)⇒(II))された時期につき、以下にご回答ください。

- ① 申請後から派遣開始前までの期間 (但し②を除く)
 ② 派遣開始時点・派遣開始に伴い
 ③ 派遣期間中 ⇒ C-2をご回答下さい
 ④ その他 ()

C-2： C-1で③「派遣期間中（に辞職・任期満了）」と回答された方にお尋ねします。

日本での所属機関では、どのような手続きにより派遣を開始されたかにつき以下にご回答ください。
※派遣期間中の給与の有無及び機関のサバティカル制度利用の有無を併せてご回答願います。

- ① 休職
 ② 出張
 ③ 留学・研修
 ④ その他 ()
 ※ 有給 (有給の場合、当該欄を選択)
 ※ サバティカル制度を利用 (サバティカル制度利用の場合、当該欄を選択)

C-3：辞職された職と、派遣終了後の職の関係につき、以下にご回答ください。

- ① 前職に復帰・再雇用
 ② 前職とは別の職に就職
 ③ 派遣終了後は未就職
 ④ その他 ()

次ページに続きます。

海外特別研究員の就職状況等について（調査票）③ <様式3-3>

問1) 現在のご職業について該当するものを選択して下さい。
その上で、以降の問2又は問3にご回答願います。

- ① 研究職 → 「問2」をご回答願います。
 ② 非研究職等 (職務として研究を遂行しないもの) → 「問3」をご回答願います。

※ 職務として研究を行うのではなく、機関等と雇用関係を結ばずにフリーで研究を行われる方は、
「②非研究職等」を選択の上、問3についてご回答願います。

※ 無職の方は「②非研究職等」を選択の上、問3についてご回答願います。

問2) 問1で①を選択された、研究者の方にお尋ねします。

問2-1：勤務先名をご記入の上、該当する勤務先分類を選択してください。

勤務先名 (機関名及び部局名・部署名) ※本務先一箇所を記入願います

大阪大学 微生物病研究所

勤務先分類 ※海外の場合は⑤、⑦、⑩のいずれかを選択してください

- ① 国立大学法人 ② 公立大学 ③ 私立大学 ④ 高等専門学校
 ⑤ 海外の大学 ⑥ 国公立（独法含む）の研究機関等 ⑦ 海外の研究機関等
 ⑧ 財団等研究法人 ⑨ 民間企業 ⑩ 海外の民間企業

問2-2：雇用形態及び職名について、該当するものをそれぞれ1つ選択してください。

雇用形態

- ① 常勤研究者 (雇用期間の定めなし) ② 常勤研究職 (テニュア・トラック)

- ③ 常勤研究者 (任期付)

任期 令和 7年10月から 8年3月まで 更新: 有 (最長 3年間) / 無

- ④ フェローシップ ⑤ ポストドクター ⑥ 週30時間未満研究に従事する職
(非常勤等。海外の非常勤職も含む。)

職名

・雇用形態で①～③を選択された方

<大学>

- I. 教授 II. 准教授 III. 講師 IV. 助教 V. 助手 VI. 研究員
 VII. その他 ()

<研究機関・民間企業>

- VIII. P.I (Principal Investigator) IX. 他の研究員等

・雇用形態で④・⑤を選択された方

- X. フェローシップ (事業・制度名:)
 XI. ポストドクター (雇用財源名:)
 XII. その他 ()

・雇用形態で⑥を選択された方

- XIII. 非常勤講師 XIV. 非常勤研究員
 XV. その他 ()

次ページに続きます。

海外特別研究員の就職状況等について（調査票）④ <様式3-3>

問2-3：海外特別研究員として研究を行った経験は、研究職へのキャリアパスに役立ちましたか。

- ① 非常に役に立った ② 役立った ③ どちらかと言えば役立たなかった
 ④ どちらとも言えない（理由をご記載願います） ⑤ 役立たなかった（理由をご記入願います）

④・⑤の理由

問2-4：問2-3で①～③と回答された方は、どのように役立ったかについて以下に回答願います。

- i. 研究能力・技術を身につけることができた
 ii. 現在の研究につながる基礎的な研究を行うことができた
 iii. 自分が設けた研究テーマに専念することができた
 iv. 経済的な不安を感じずに研究することができた
 v. 海外で研究を行う機会・経験を得ることができた
 vi. 研究業績を増やすことができた
 vii. 人脈・交流を広げることができた
 viii. 研究職に就職するにあたり役立った
 ix. その他（内容を以下にご記入願います）

“ix. その他” の内容

問2-5：海外特別研究員終了時から現在までに受賞歴があれば、以下に回答願います。

（受賞名、授賞機関、受賞テーマ、受賞年月日等）

第41回井上研究奨励賞、公益財団法人 井上科学振興財団、光熱効果による有機結晶の高速アクチュエーション、2025年2月5日

問2-6：その他、事業・制度等に対して、ご意見・ご要望等ございましたら、ご自由に記入願います。

特になし

問1）で「① 研究職」とご回答いただいた方への質問は以上です。
ご協力ありがとうございました。

海外特別研究員の就職状況等について（調査票）⑤ <様式3-3>

問3) 問1で②を選択した、非研究職等の方にお尋ねします。

問3-1：勤務先名をご記入ください。（無職の方は空欄にし、問3-2⑨にチェックを入れてください。）

問3-2：現在就かれている職種について、選択していただかずか、具体的に記載してください。

① 専門職

- I. 医師 II. 弁護士 III. 弁理士 IV. サイエンスライター
 V. 学芸員 VI. 特許審査官 VII. コンサルタント
 VIII. その他 ()

② 教育職

- I. 大学等高等教育機関 II. 高等専門学校 III. 高校
 IV. その他 ()

③ 技術職

- I. 民間企業の製品開発部門、工場部門等 II. 大学・研究機関のテクニシャン、研究補助職
 III. その他 ()

④ 研究支援職

- I. 大学事務職員 II. 研究機関事務職員 III. T L O IV. ファンディングエージェンシー
 V. その他 ()

⑤ 経営者・役員等

- I. 民間企業 (*ベンチャー創業を除く) II. ベンチャー創業
 III. その他 ()

⑥ 事務職・営業職・その他

- I. 公的機関 II. 民間企業 III. 財団 IV. N P O
 V. その他 ()

⑦ 学生

- I. 研究生、研修生 II. 大学院生 III. 国外留学
 IV. その他 ()

⑧ パート・アルバイト

⑨ 無職

⑩ その他

- ()

問3-3：海外特別研究員として研究を行った経験は、現在のキャリア等に役立ちましたか。

- ① 非常に役に立った ② 役立った ③ どちらかと言えば役立たった
 ④ どちらとも言えない ⑤ 役立たなかった

次ページに続きます。

海外特別研究員の就職状況等について（調査票）⑥ <様式3-3>

問3-4：問3-3で①～③と回答された方はどのように役立ったかについて、④・⑤と回答された方は役立たなかった理由について、以下にご記入願います。
また、研究職ではなく非研究職に就かれた理由について、差し支えない範囲でご記入願います。

問3-5：その他、事業・制度等に対して、ご意見・ご要望等ございましたら、ご自由に記入願います。

問1) で「② 非研究職等」とご回答いただいた方への質問は以上です。
ご協力ありがとうございました。